

武教全書口訣

撰
切

四

武教圖書館藏

部門 七乙一

番號 六一

冊數 二八



武教全書口訣

△撰印

横ハエラフ功ハイサヲシ此篇ハ有功

ノ者高名チカラノ淺深輕重ヲ辨スル

ク要論入三ノ

高名卷ノ批判之事

款ヲ打テ其旨ヲ取テ高名ト云能仰テ

其シ或ハ太カ者ハ踏履下トスル類也

又能高名ト云ヒテ其アリ見事ナシ





武教全書口訣之與外十十論天々來運地同

△撰印 著者 著者 著者 著者 著者 著者 著者 著者 著者 著者

凡撰公壬ラフ切ハイサヲシ此篇ハ有切

人々者高名手力ヲハ浅深輕重ヲ詳ニ工

下ラ番論ス大補員分ハ少少少少少少少少

一〇高名譽ノ批判之事 著者 著者 著者 著者 著者 著者 著者 著者 著者 著者

款凡折テ其首ヲ取ヲ高名ト云能働ヲ

力以或ハ太及折人勝負トトスル類也

又能詞士其以力ヒテ其フリ見事ナル





ヲ譽ト云批判ハ夕クテハ口カツナリ
此ハニテハ右高名譽ノ輕重ノ次第ヲ
批判ヲナス也

一 高番鎗 其備ニ於テ一番ニ鎗ヲ合スル
ヲ一番鎗ト云勝負ハ敗ノ運ナレハ論セ
又其士ノ忠義勇相備セシテ英雄ノ
武士ト定ルナリハトナレバ此蓋ハ百四
△此一番鎗ハ一手々々ニアル物故其備
先ニ於テト云其一手ノ備ニヲイテ款間

僅ニ十間ノ内外ニナリタル敗進出テ
何某一番鎗ト各衆テ突テカ番ルヲ一
合番鎗ト云勝負ハ捨シテ互ニ鎗先ヲ並
ナタル際ニ臨テ一人踏切テ真先ニ進ム
一 敗ハ士卒大ニイカニ勢ヒ生シ勝氣出
来ルモト也是則君ヘノ忠士卒ヘノ義
也此忠義ヲ知テモ勇氣ナケレハ又一
番鎗ハ入ラレサルニ忠義勇相備
凡トイハルナリ人心了ルヲ英ト云万人

心アールヲ雄ト云右之通一番鎗ヲ入ル
ハ其一備ヲ引立勝利ノ勢ヲトルト十
ルユヘ誠ニ千万人ニ勝レタル至極勇
猛ノ見事ナル譽ノ第一ト定ルナリ
一 二番鎗 一番ニ差続テ鎗ヲ合スルヲ云
ナリ三番ト云ハ大敵コルナリ二ノ鎗
合終レハ何方ニソ崩色ツクカユヘナリ
一 一番ニ差ツキ進イタタ一番鎗ノ名
ナリ終ラサルナリ追カコフテ出各

ス乗テ鎗ヲ合スルヲイフ也是ニ番ヲセ
ルナリ思ハ不入ニ番鎗ヲ心カケル
士ノウナニシホ合ニヨリテ只一足ノ
遅速ニテ二番トナル然レハ其心カケ
ハ一番ト同前ナルユヘ一番鎗ニ差続
テ賞翫スルナリサテ一ニノ鎗ヲ合ス
ニウナニハ諸勢是ヲ見ルト一同ニキオ
崩色カ付モノ也故ニ三番鎗トイフハ

大方無之ナリ
一 鎗服付鎗下ノ高名一ニノ鎗ヲ合スル人
二 差続キ刀弓鉄炮ヲ以鎗ノ服ヲ誦ルヲ
鎗服トイフ刀鎗服ヲ上トシ弓鉄炮ハ其
次也鎗下ノ高名トイフハ鎗下ニテ入ヲ
討ヲ云也如此ノ收分白齒者ナリ氏コレ
ヲ討ヲ高名トス尤味方ノ侍討死ノ死骸
ヲ引カケ披官ニ下知ヲ退サセ年負ヲ夕
スケルヲ殊ナリ振トイフハ

刀ハ敵近キ勝負子ハ上トス
鉄炮ハ遠間ノ勝負子ハ次トイフナリ
ハ鎗ヨリハ太刀打ヲ第一トス
ハキヲ鎗ヲ賞翫スルハ太刀ニテハ備
崩カヌル物也鎗ヲ入レハ大方ハ備崩
ル、モノナレハ也鎗下ニテ敵ヲ取
テ鎗下ノ高名トスル也此收白齒者ニ
テモ討取ヲ高名トスルハ一番鎗ノ場
ハ白齒者ハ出ル処ニアラズ然ルニ

出合ハ勇氣至極ノ者ナレハ毎夕ハ折
難カルヘシ其上匹夫ニテモ討之ハ味
方大ニ勇ニ歎ハ臆スルモノユヘニカ
夕ク高名トスル也

一場中ノ勝負同高名是ハ歎味方ノ備相イ
ニ夕遠キ氏勇士進ミ出能詞ヲツカヒ能
弓鉄炮ヲイタシ又ハ折物ノ勝負ヲスル
是ヲ場中ノ勝負ト云也高名トイフハ則
人ヲ折テ高名トス是也皆其場其処ノ歎

味方ハレトハ場中ナレハ場中トイフ

一 歳夕折ハハ源平ハ嶋ニテ越中ノ二高兵

衛等ト伊勢ノ三高金子十郎十トカ詞

一 将夕ハカヒヲシ金子ノ與市カ盛綱ヲ一

一 矢ニテ射タリシ景清三保ノ屋カ折物

一 人勝負ヲナセシ類ナリ

一 組折然其只一様ニ定難シ大敵追折

一 一 敗有之ナ也後出タル勇士ニテラサレ

一 八叶ハサレ事也

八、組打ハ場中人勝負十トニモ可有之哉
十ル故ニ其只一様ニ定難シトイヘル
也然レトモ大カイハ追打ノ恥有之モ
ノ也諸人ニスクレタル勇力ノ士ニア
ラサレハ十ラサル業ナリ夕トヘハ一
ノ谷ニテ敦盛熊谷忠度園部力組打ノ
類ナリ
一 崩シ際一二人鎗合終テ崩色付收崩シ際
ニテ鎗ヲ入人ヲ討ヲイフ也

是是一番鎗ヨリハ劣レハ一番ハ款ノ盛
然レハ收是分款ノ崩際諸勢ハ隠シタル
時分故鎗イタシヨキ也
一 将ヲ討事ハ是ヲ冥加人侍ト云如是ナ
願テモ十ルヘキ事ニアラヌ希有人是十
レハナリ
又今テ軍ヲ十スハ款ノ大将ヲ可討タ
メナレハ諸勢孰モ討之ヲ心懸ルハ
戦ヲ常也然レモ又双方共ニ大将ヲハ

肝要ニ守護スルモノユヘツト木外願テ
討ル、モノニアラス誠ニ希有ノ丁天
ノ命ヲ得ニアラスシテハ十ラレシル
丁ユヘ冥加ト云ナリ

一 追首ニ采幣ヲ添ル事是又能善也才配
取持ノ侍ハ侍大将カ物頭物奉行ナリ然
レハ敗軍ノ敗分モ義ヲ知リ恩ヲ感スル
披官同心必付トトフ命ニ追行味方ハ逸
足ヲ出シ追カユヘ下人大方番人モウシ

カカル者也此礼ヲ穿鑿メ大ナル善ト定
ルナリ和式ハヤク大ニ謝スル事ナリ

一 追打ニ首ヲ取ニ其款才配ヲ持テハソ
レヲ首ニ取添ル也然ル敗ハ款々姓名
ヲシラテモ頭奉行トイフ證拠ニナリ
ナリスヘテ追首ニハ才配ニハ限ラス

一 纒曹太刀十トノ類有之ハ取添タルカ
キヨシトイヘリ
一 後取之事味方敗軍ノ敗諸軍ノ跡ニナリ

カウテ全ク兵ヲ入シムル事也大功ノ勇
士忠義ヲ兼備スノ成カタキ譽ナル故魁
殿ト号ノ大敵一番鎗ニ相類スルナリ
魁殿ハ魁ハサキカケ殿ハシツハライ
トヨム退口ノサキカケト云意也敵急
ニ追入ハ取テ返シ戦敗ハ右ノ者スナ
シキサキカケト成ナリ是敵ハ大ニキ
技ヲヒ味方ハヤフレ大ニ臆スル敗ナレ
是ハ其志ヨリ常ニテハ大ナラサルナリ

一 小返之事 是ハ退口静カシテ敵急ニ付
敗ハ幾度モ立トナリ敵ヲ突立能詞ヲ以
カヒフリ見事ナルヲ云ナリ
一 將ニ付事付馬ヲ差上ル事 負軍ヲクレ
口ニ大將ニ能付是ヲ將ニ付ト云頭奉行
ニ能付テ進退ヲ共ニスル皆一理ナリ殊
更主人ノ馬草卧手ヲ負タル敗ハ馬ヲ奉
リ歩立テ供奉スル是又無比類勸ナリ
一 卯之事 追崩メ後敵ヲ打首ヲ取来ルヲ

仰ト云ラツレヌ走り廻リタルト云仰ノ

首トレハ仰トイヘリ

一、二ノ鎗ヲ合場中ノ勝負トトノ取首

ヲ取タルヲ高名ト云是敵ヲ追崩シタ

ル後ニ首ヲ取タルヲハ仰ト云ナリ

一、実衆コホレ者敗軍ノ款堅マリ退ヲ実衆

ト云二人三人ハカリコホレ行ヲコホレ

者トイヌ人ヲ討ス凡実衆ニ付ヲ答ト云

一、十平ノ事

夕トヘハ坪ニ物ヲ合然ニ中ニ一ハイ

夕ニルヲ実トイハ眼益了子然スタル

ヲコホレ物ト云意ナリ勇士ハ敗軍ノ

節モ魁殿ヲ心掛ルユヘ一カタニナリニ

ナリテ静ニ本道ヲ引取是急ニ追カケ

ハ返テ一軍セント欲ルモ人也是実衆

ナリ臆病ナル者ハ本道へ引成ハ右ノ

実衆ニ加ルヲキラヒテアセ道ナト

ノ類ヲヌケクニ引取是コホレ者ナリ



追討ヲスルニハ此コホレ者ニ付テ頭
ヲ取タルヨリハ敵ヲ討ス正実衆へ付
者ヲ善トスルナリ

一
ヲクレ口ニ指物ヲ落シ取テカへル事
是又能善也殊ナル勇士ニアラサレハ叶
ヒカタシ

捻メ指物ヲ落スハ不奄ナルナ故ヲ
ナシ如ク能クカラニ置テ也然レトモ
場外ハケシキ收ハ自然ニ不落スナ

ルモノ也ソレヲ取テカへシテ指物ヲ
取返シ歸ルハ勇猛スクレタル士ニア
ラサレハ叶サルナレ能善トスル也

一
鼻ハ是ハ場中ノ勝負場外セハシク小者
若黨ツ、カス先ノ働ヲ心懸テ證人ヲト
リ鼻ヲカキ具足ハ胸板ニ入ル事也尤然
ルハ事也鼻ヲカクニハ髭ヲ付耳ヲカ
クニハ鬢ヲソク物ナリ
鼻ヲ欠ハ持ヨキナリ深働ヲナシテ身

ヲアヤマツテアルユヘ鼻ヲ欠テハ常
大ニ禁ス然レモ本文ノ如クイタセハ
證人ヲ取テ鼻ヲ欠テ可然ナリ證人ノ
取様ハ侍用武印ニ委シ鼻ヲカクニヒ
ケテ付ルハ上唇ヲ付ル也耳ヲカクニ
鼻ハ鬢ノカミヲソク男女ヲ分ル為ナリ
然レモ軍中ニモトヨリ女ノ虫ヘキヤ
ウナシ畢竟周章スヲ午付テ作マヒ夕
ルト云印ニ石ノ通ニスルナリ人ヲ殺

不テ死切タルニ留ノ刀ヲサスカ如シサ
テ當流ハ留人サシ様ハ耳ノ下ホウサ
ニラサシトウシ竹ノ杭ニテモ州ニテ
モサシコミ置ナリ
一番頭之事是ハ追首印ノ中ニ一ニテ
アラタメ知ヘキ為ナリ
場中ノ高名一ニノ鎗合或ハ鎗服ノ高
名ナトノ類ハ何レモ諸勢ノ目前ノ働
ナレハ人皆知知也其甲乙改ニ及ハス

此一番首ト云ハ昏面ノ通敵敗軍ニ味
方追弁ヲナシ仰テ取来ル取其士卒ノ
働一二ヲ改知ヘキ為ノ丁也サテ首ヲ
取来テ首帳ニ付ルニ一番ヲ見テ一番
首ヲ付ル丁昏札ノ故実ナリ其故ハ其
場処ノ遠近其人ノ老若ニヨリテ同取
ニ取タル首ニテモ遅速アリテナカニ
ト成丁有争出来スルモ丁ノ此処ヲ
考ヘキ夕メナリ

一 不覺ノ武者ノ批判ノ事
一 不覺ノ武者ノ批判ノ事
論夕トヒ臆セサレ凡弓矢ノ道不案内
十士ヲ云
一 病首ノ首帳終テ證人ナキ首ヲ病首取ト
云是敵陣ノ固屋ニ病者ナトノ残りテ居
タルヲサカシ出シテ能高名ニ入ント頭
ヲ取来レル也
一 首帳ノ奥ハ捻首何千何百其外手履死

人数ヲ不知ト昏留ル也右昏終テ證人
十キ首ヲ持来ルヲ病首トイフ是必病
者トウテモ證人十キ首ニヘニ如此論
シタルモノ也

一 女首 是ハ證人モ十キニ鼻ヲソキ耳ヲ

切テ来レルヲ云女カ防主ノ首ヲトリ取

ルモ無テ鼻ヲ欠来ルナリ

是モ證人十キニヘ如斯クヘリ

一作首是ハ雜人ノ首ヲ取能首ニイタ

サニ力為正人ノ捨タル曾又取テ首ニ着

セ来ルヲ云

是モ證人十キヲ以作首ヲ知ナリ

一 拾首 能武士先ヘ心掛テ道ニ有手負死

人十トノ首ニハ目ヲ掛不通ルヲ跡ヨリ

行テ拾フヲ拾首ト云

是誠ニ臆病ノ業ナリ

一 狗鎗 馬上ノ鎗屏越垣越築地越溝越十

トノ鎗ヲ誠ノ鎗ノ如ク高言ヲ云テ似也

物工へ二狗鎗ト云ナリ

天タテ犬サニセウト云類ニテ役ニ立

サハ鎗ト云意ナリ馬上ノ鎗ハ至ニ行

違ヒシ十二一鎗ツ、突合也屏越スへ

テ物ヲ合タテハ鎗ヲ合ルハ白刃ヲト

キ立テ突合ト云様ナハケシキ勝負

ヲテ指シ危キ片一足跡へ引ハ突レオ

ルナリシカルヲ誠ノ鎗ヲ合タル如ク

高言シ自ホコルヲ似セ物ナルユヘカ

一 討タノイヲ也

一 作り武邊人ヲ討タルトイヒテ我刀

ニ我ト切込ヲイタシ指物ヲ切オキ曾ニ

疵ヲ付種々ノ作り事ヲイヒテ輕薄ナル

侍ヲ作り武邊ト云ナリ

教度ノ武邊アルモノハ諸人見知り聞

シリテ各高モノ也然ニ其聞モナクテ

自分ヨリ文面ノ如ク輕薄ヲスルモノ

外ノ事ナリ



一 伎取相違之譽之事

我伎知ヲ離レテ他

ノ陣ニ行キニ了レテ譽ヲ不夕ス是ヲ伎知

相違ノ譽トイフタトヘハ何ホトノ功了

リ氏忠美ノ勇士トスヘカラサル也

此類ヲ賞スル恥ハ我受場難知力或ハ

麻切ノ立難キ知ナレハ他陣ヘ行如ク十

二凡モソユヘ不忠不義トシ不覺トイフ

一 十月廿八日

一 場ヲハ又ノ事 是ハ其身臆ノ場ヲハツ

又ノハ言葉ニ夕ラサレ也其身臆セスト

イヘ氏弓矢ノ法ヲ知ナルユヘ天我伎知

ヲ離レテ他知ニ行其跡ニ我伎知ニ事ア

ルカ或ハ風呂ニ入町屋ヘ行テ其内ニ役

知ニ事ノ出来テ午ニアハサレ是等ヲ場

ヲハス、ト定不覺ノ内ニ入ルナリ

一 職ヲスツル事 是ハ我伎知ヲ捨テ事ヲ

十ス恥ハ其譽莫大ナリトイヘ氏用ユヘ

カラストイヘル美ナリトイヘ氏用ユヘ

タトヘハ武士タルモノハ兵法ヲ專ト
スル事常ノ職ナルニソドヲ不学乱舞
旋樂ヲ事トスルカ如シ

○高名不覺批判心得之事

仕方ニヨリテ高名トナリ不覺トナル
コトアリ是ヲ批判ヲナス

一 先懸拔懸之事 先カケト云ハ先登ヲイ

タス可也水陸戰城攻厄二人ニ先カケテ
切アルヲ云拔カケト云ハ大將ノ法令ヲ

破リ抜カケヲトクルヲ云是血氣ノ勇者

ノ者一人アル收ハ其備全カラズ軍法正

シカラサル也能々可相守也

亦曰拔懸ハ拔出ノ切ヲイフヘケレト如

是其只ヲ定メサレハ穿鑿ノ收手間ヲト

ル工ハ如是

先懸ハ高名抜カケハ不覺也

一 至將士三段之高名不覺其心得アルヘキ

事

主ハ大将国天下ニ至タル人也將ハ侍大将足輕大将ノ類士ハ平士也此三段何レモ仕方心得ニヨリテ高名トナリ不覺トナルルハ此知ヲ能ク勘弁メ高名心掛テ不覺ノ名ヲトラスル如クスルト要也其心得ヲスヘシ主ハ心ヲ正シ民ヲ十テ国ヲ治メ家ヲトシテ天下ヲ安泰ニナシテ世ニ乱逆ノ

臣才カラシ全ハ是高名ナリ

心ハ一身ノ主宰ナレハ道術ヲ以テ我心ヲ正クシテ邪ヲ除カテ四民ヲ教訓メ困窮難及ニ及又如クナテ安メ国家能治リ存テ天下中安泰ニメ万民上ノ徳化ニ順テ世ニ乱逆ヲナス臣ノナキ如クスル是ヲ至タル人ノ高名ト云也
国ノ乱臣出来下安堵セス主又匹夫ノ勇ヲ好ムハ不覺ナリ

是ハ右ノ衰ニテ政道邪ナルハ自然
ト国家空クナリテ上ヲウラムル者多
クアリ乱ヲナシ及逆ヲ起ス者出来ル
ユヘ下タル者先窮ノ間ニ居テ片暇モ
安堵ヲナサスワイニハ其国ヲ亡スニ
至ルナリ匹夫ノ勇トハ右ノ通治国安
天下ノ衰心ニカケスニテ只自己ノ働
ヲ樂ンテ夕上へ今ハ人ヲ争討トスル
衰ヲ好ミ玉フ類ヲ云如此ノ下ヲ不覺

ト云ナリ士ノ不覺ト云ハ所共ニ

將ニ義ヲ重シニ上ヲ敬ヒ我預ルハ侍足
輕諸役人ヲ能下知シテ忠アル如クスル
ヲ高名ト云我功ヲ立ンテヲ願ヒ小利ヲ
ムサホリ大利ヲ失フヲ不覺ト云ナリ
士己ノ働ヲ心カケ功ヲ立ンテヲ願フ
ト是小利也然レ我預ルハ士卒ヲ上ノ
最用ニ立サルハ大利ヲ失フ也
士ハ法ヲ守リ義ヲ正シ武藝ヲ勤メ常ニ

急スシテ功ヲ諸人ニスクレシテ下ヲ思フ
是高名也分ヲ越テ受テ願ヒ人ノ是非ヲ
イヒ我カ分ヲ守ラサルハ不覺ナリ
士モ段々アリ其分々ニ應シテ夫々ノ
節アリ然ルニ其分ヲ折越テ節ナキ願
ヒ高名トシテ故七十キニ高禄富貴ヲ願
フ我身ヲ不省シテ人ノ善惡邪正ヲ云
知ラズ子意妬ム人ノ意ナリ我身位ナ
守ラサルヲ士ノ不覺トスルナリ孰モ

一 忠義勇之事 節ニ成ヘキ功ヲ上ト定
メ收ニ至テ義ヲ守リ其宜ニ叶テ其次ト
シ己カ一期ノ勇アルヲ又其次トス其收
其処其人ニ依テ此心ヲ以批判致スヘシ
此三ツ撰功ノシメクナリナリ高名譽
アル者何レモ此道理ヲマヘテ其甲
乙ノ次第ヲ穿鑿批判ヲナスヘキ也其
收トハ治乱寒暑ノ類ハ陰易ノ類其

老若將士也畢竟功人立安キト立難キ
トノニツ也

一 賞ハ偽リナキヲ用ヒ罰ハ必トスルヲ可
用変

是賞信必罰前篇ニモ跋々イヘル如シ
必トハツニヒラカニスルト云意ニミ
ルヘシ

一 賞ハ小賞ニ罰ハ大ヲ罰スル莫
賞命小人ニハ及ヒカタク罰ハ大人貴

族ニハ及ヒカタクモノ也甚宜カラズ

一 夫嵐牙ノ類ノ小者ニテモ少ニテモ功
了レハ其恥ヲ及ヘス賞美ヲナシ大人
貴族ニテモ罪ヲ犯サハ用捨ハナク罰
ヲ加ヘキ也

一 無法ノ賞無法ノ罰之変

是ハ賞罰ノ變ヲ云常用工ルナハ非
不恥ニ依テ行フナアルナリ無法ノ賞
トハ又トハハ漢ノ高祖雍齒ヲ了ケテ

竹方侯ニホウシ無法ノ罰トハ高祖ノ
丁公ヲ罰シ玉フノ類是ナリ

○手負ノ批判之妄

一 大合戦小迫合城責三段氏ニ深キヲ負ハ
抜出タル勇士ノ口サナリ尤向フ疵之妄
人ノ跡ニ居テハ深キヲ負テハ無シト
カク先ニ進ミ出ハケシク戦フニハ也
一 後疵是又ツ此ルハカラス能穿鑿イタス
へキ事ハ

必ニケ走ル敗ノミニ力キラヌ款ト切
結ヒタル敗又一人後ヨリ来リテ切掛

一 類ナリ

一 セツク走り廻リアリトイヘ氏手疵無之
ハ大カヒ空言ナリ但自然ハ可有之妄

夕トヘハ甲斐馬場美濃守カ如キ数度

ノ高名ヲ顕シタリトイヘトモ一度モ

手疵ヲ蒙ラサル類アリ是等ハ冥加ノ

一 下武士氏イハシ



一 下人放討之砌手ヲ負フ丁ソシルヘカラ
サル事

下人トテ兵法ヲ得サル者アラシヤ且
彼ハ心死ナリカタク我手ヲ負ヒシキ
モノニアラス

○城責高各批判之事

一 一番衆同虎口衆之更

一番衆ハ諸勢ニ抜出テ城ノ壕ヲ衆越
テ入タルヲイフ是諸手ニアルモノ也

虎口衆トハ城ノ小口ヲ一番ニ衆取ヲ

云武勇ノ士多勢ニテ守ルモノナレハ
衆難シユヘニ是ヲ上トシ屏裏ハ守リ

薄キ物ナレハ衆安キ道理故是ヲ次ト
ス是批判ナリ

一 巻ホクス取履リ之更

城ヲ取巻タルニ故アリテソレヲトキ

一 衆人教ヲ引取ヲホクスト云其取履リヲ
ヌルヲ誓トスルナリ城ヨリ打テ出付

送ル丁ヲル故ナリ

一 屏下へ付タル虎口際迫合之事

虎口ハ右ニ云如ク武功ヲ守ル如ナレ

ハ虎口際迫合ヲ一トシ屏下へ付タル

ヲ次トスルナリ

右半前方批判ヲ考ヘ穿鑿イタヌヘシ

宋教之上一二長尺土十

云元帝ノ土是禁ニテ

漢口宋十八册ノ小口





